

B キッチン～使用頻度で定期的に分けを

キッチングッズは生活していると、「使う物と使わない物」が明確に分れてきます。使用頻度が低い＝自分に向かない・好きでない物です。好きなグッズや食器に囲まれて快適な作業ができるよう、定期的に分けをしましょう。運びたいお気に入りグッズを使いこなすことで効率がアップするだけでなく、料理が楽しくなります。

また、食料品はもちろんラップやホイルなどつい水分が買いがちな物は、在庫量が見えるように収納をしましょう。冷蔵庫も「奥まで見やすい収納」が、食品の賞味期限切れを防ぐコツです。



C バス・トイレ～最小限の物だけを置く習慣を

掃除用の洗剤や道具は、常備しても最小限にしましょう。ちよっとだけ残ったシャンプーや石けんなどは、使わないなら買ったままにせず、思い切って処分を。

バスやトイレはリラクースできる場所ですが、湿度の高い場所でもあります。好きな小物や植物などを置くのはよいのですが、物の多さはカビを招きますので、ほどほどにすることが大切です。最小限のグッズで最大限の美観を演出を工夫してみてください。掃除もラクになります。



場所別 “苦手スペース” 対策

苦手スペースがわかったところで、場所別に片づけの仕掛けの作り方をご紹介します。

どの場所も同じように片づけていては、問題が山積みになってしまいます。用途の違う場所別に、それぞれに収納法を工夫することが大切なです。

苦手スペースを作らないためには、家族の共用物は、置き場所を全員へ周知徹底しておくことがポイントです。その前に、まずはあなたご自身が仕掛けを作りましょう。

A リビング～物を置く前の工夫が肝心

リビングで片づかないのは、紙類や文具、衣類です。文具は最低限の物を決めて出し入れしやすい場所に置けば、自然と片づいていきます。リビングには小物が多いだけに、「ラベル」などで家族にわかりやすくしておくことが大切です。収納場所へのアクセスのしやすさも成功の秘訣です。

紙類は、置く前の対策が勝負。ダイレクトメールなどはリビングの出入り口付近にハサミと宛名消し用の油性マジックペンをセットしておき、不要な物は即別ゴミ箱へ。棚内への書類は、ファイリングをするなど見やすい収納を。衣類は「ちよっとだけ置き場」を作ると、脱いですぐの服が散乱しにくくなります。

